

第3章 計画の目標

1 目指す環境像

本市の環境特性や課題などを踏まえ、本計画の目指す環境像は次のとおりとします。

暮らしと自然が共生し、ゆとりと潤いのある自立協働都市

■ 暮らしと自然が共生……とは

本市は、身近で豊かな自然に囲まれ、多くの人々がそこで暮らすとともに、工業・水産都市として活発な産業活動が行われています。

今後は、地球環境にやさしい循環を基調としたライフスタイルやワークスタイルの浸透を図るとともに、暮らしと産業と自然の共生する都市を目指します。

■ ゆとりと潤いのある自立協働都市……とは

本市は、街かど花いっぱい運動^{*}や花とふれあいのふるさとづくり^{*}などを実施し、ゆとりや潤い、快適性を実感できる花と緑に包まれた都市づくりを目指しています。また、本市は、全国から多様な人材が集り、活発に市民間の交流が行われています。

今後は、美しく豊かな自然環境など、恵まれた条件と地域の資源を最大限に活用しながら、市民と行政が協働し、市民相互のネットワークを広げ、暮らしたくなるまち、暮らし続けたいまちづくりを目指していきます。

2 環境目標

目指す環境像を実現するためには、総合的、体系的に施策の方向性を示す必要があります。この計画では、目指す環境像を実現するための施策の柱として、以下の5つの環境目標を定めます。

環境目標 1 (自然環境)

身近な自然を守り、育みながら、「ひたちなか」らしさのある豊かな自然を次代へ継承します。

環境目標 2 (都市環境)

恵まれた環境資源を生かし、ゆとりと潤いのある都市環境をつくります。

環境目標 3 (地球環境／循環型社会*)

地球にやさしく、環境負荷の少ない持続可能な循環型の地域社会をつくります。

環境目標 4 (生活環境)

暮らしや産業活動と環境との調和がとれた、健康で快適な毎日が過ごせる地域社会をつくります。

環境目標 5 (パートナーシップ)

環境保全活動を協働して進めるまちをつくります。

